

## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 森下 幸治  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,821	3.2	145	41.2	156	38.7	93	39.9
2023年3月期第2四半期	2,914	3.1	247	43.1	255	40.8	154	50.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 160百万円 (13.2%) 2023年3月期第2四半期 141百万円 (2.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	49.86	
2023年3月期第2四半期	82.96	

(注) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,125	4,841	50.5
2023年3月期	8,773	4,750	51.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,606百万円 2023年3月期 4,515百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		30.00	30.00
2024年3月期(予想)				35.00	35.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 2024年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当30円、記念配当5円

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,610	11.1	510	5.2	510	3.4	315	0.1	168.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,000,000 株	2023年3月期	2,000,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	132,592 株	2023年3月期	132,592 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,867,408 株	2023年3月期2Q	1,867,612 株

(注)当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済活動が本格化する一方、原油や資材価格高騰・為替の変動による物価の上昇・ウクライナ情勢等の影響もあり、まだまだ、その先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、今年8月に創立100周年（創業135周年）を迎えた当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロにゆだね、モノづくりの楽しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる楽しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを推し進めるにあたり、経営課題の解決に向けた機能的な組織への変更を2023年4月に実施しました。

モノづくり事業本部においては、営業部門の更なる強化、売上の増加と適正な利益確保を図るため、従来の営業企画部を「営業統括部」とし、企画・販促のみならず、多様化する販売網に柔軟に対応するため、営業部門全体の統括機能と併せ、新規販売ルート攻略の最適化・最大化を図るため、各営業部の横断的組織としての機能を持たせました。各営業所については、地域の販売を強化するため、地区管轄所長と地区担当者とが地域の売上を担い、営業統括部の所属として営業活動を行いました。

そして、市場が異なるファスナー・ファスナーツールとハンドツールについて、それぞれの営業戦略をより明確にするため、「第一営業部」の管轄は、ファスナー関連中心の機工系の代理店とし、「第二営業部」の管轄は、ハンドツール関連中心のプロショップ・ホームセンター・金物系の代理店としました。特にファスナー関連の商品については、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロブテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制を築きました。

海外部門については、グローバルな展開により大きく販売増を目指すため、第二営業部より「海外営業部」として独立させました。

また、“ロブスターブランド”の生産拠点である鳥取ロブスターツール株式会社では、モノづくりの合理化を図るべく、モノづくり合理化推進室にて、合理化推進と新規事業の検討を行っております。

最後に経営課題であります“利益体質の強化”を図るべく、現状課題については各種プロジェクトを発足し部門横断的に解決策を検討、実務部門に展開してまいりました。そして、未来を見据えた目指すべき将来像についても各種会議体にて描いており、新商品・新サービス情報を市場から収集し、それを商品実現という形でお客様にご提供するだけでなく、市場の大きな流れ（例えば技術動向等）をあらゆる切り口から検証し、市場が要求する新たな価値を創造し、商品化、サービス化することで「モノづくりのプロ」にお応えすべく推進してまいりました。

しかしながら、売上高は前年同期比3.2%減の28億2千1百万円（前年同期29億1千4百万円）となり、営業利益では同41.2%減の1億4千5百万円（同2億4千7百万円）、経常利益では同38.7%減の1億5千6百万円（同2億5千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益では同39.9%減の9千3百万円（同1億5千4百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内売上は、OEM関連商品において、前年をカバーするだけの販売数量には及ばなかったものの、ファスニング関連商品において、省人化を目的とした自動機やシステム物件の引き合いが、増加傾向にあり、着実に受注に結びつきました。また、ロブテックスファスニングシステムにおいても建築・橋梁関連の物件が好調であったため増加しました。

海外売上では一部商品の欠品が影響し、韓国市場において作業工具類の販売が減少しました。しかしながら、欠品については、既に対策を講じ、現在では解消に向かって取り組んでおります。

また、ファスニング関連商品においては、国内同様、自動機やシステム物件の引き合いが、増加傾向にあり、今後の売上に寄与するものと考えています。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比3.0%減の26億9千2百万円（前年同期27億7千5百万円）となりました。利益面では材料等の価格高騰や在庫評価に関する費用発生による原価率の悪化と減収影響が大きく、同52.1%減の8千3百万円（同1億7千5百万円）のセグメント利益となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場における一人当たりの売上高は微増したものの、入場者数は減少。サービス向上や集客施策を実施してきましたが、売上高は前年同期比6.9%減の1億2千9百万円（前年同期1億3千9百万円）となりました。セグメント利益については顧客満足を目指した老朽化設備の改修対応もあり、同14.7%減の6千1百万円（同7千2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9億1千250百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千200百万円増加しました。

## (資産)

流動資産は前連結会計年度末比2億600百万円増の6億310百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金や現金及び預金が減少する一方で、棚卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同1億4千500百万円増の2億2千400百万円となりました。これは主に減価償却の計上による減少がある一方で、設備投資の実施や投資有価証券の時価上昇による増加があったことによるものです。

## (負債)

流動負債は前連結会計年度末比1億1千300百万円増の2億5900百万円となりました。これは主に未払法人税等が減少する一方で、買掛金や短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は同1億4千700百万円増の1億6900百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

## (純資産)

純資産は前連結会計年度末比9000万円増の4億4千100百万円となりました。これは主に利益剰余金において配当支出による減少がある一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったことによるものです。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ3億600百万円減少（前年同期2億400百万円増加）し、2億5600百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上がある一方で、棚卸資産の増加や法人税等の支払いなどにより、資金が1億800百万円減少（前年同期1億1千400百万円増加）しました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得を主因に、資金が1億3千500百万円減少（前年同期2千300百万円減少）しました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いやリース債務の返済などがありましたが、借入金収入により資金が1億1千900百万円増加（前年同期1億1千400百万円増加）しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、2023年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,930,171	2,893,747
受取手形及び売掛金	1,083,205	1,010,430
電子記録債権	205,632	214,101
商品及び製品	1,152,516	1,346,921
仕掛品	351,431	370,898
原材料及び貯蔵品	271,832	362,151
その他	104,474	108,387
貸倒引当金	△4,886	△5,339
流動資産合計	6,094,377	6,301,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	754,514	748,481
土地	668,226	668,226
その他(純額)	474,694	533,260
有形固定資産合計	1,897,436	1,949,968
無形固定資産	28,385	24,600
投資その他の資産	753,224	849,948
固定資産合計	2,679,045	2,824,517
資産合計	8,773,423	9,125,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	287,814	357,154
短期借入金	1,595,640	1,661,764
未払法人税等	80,784	66,278
その他	512,756	505,583
流動負債合計	2,476,996	2,590,780
固定負債		
長期借入金	1,353,911	1,499,319
退職給付に係る負債	76,744	82,307
その他	114,881	111,884
固定負債合計	1,545,537	1,693,511
負債合計	4,022,533	4,284,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	3,043,741	3,080,823
自己株式	△164,523	△164,523
株主資本合計	4,330,263	4,367,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,584	238,876
その他の包括利益累計額合計	185,584	238,876
非支配株主持分	235,042	235,301
純資産合計	4,750,890	4,841,523
負債純資産合計	8,773,423	9,125,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,914,421	2,821,972
売上原価	1,890,737	1,906,302
売上総利益	1,023,683	915,670
販売費及び一般管理費	776,253	770,231
営業利益	247,430	145,439
営業外収益		
受取配当金	9,343	9,100
その他	10,373	14,950
営業外収益合計	19,717	24,050
営業外費用		
支払利息	10,784	12,241
その他	910	675
営業外費用合計	11,694	12,917
経常利益	255,452	156,572
特別利益		
投資有価証券売却益	—	376
特別利益合計	—	376
税金等調整前四半期純利益	255,452	156,948
法人税等	88,065	50,861
四半期純利益	167,387	106,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,456	12,982
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,930	93,104

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	167,387	106,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,438	54,568
その他の包括利益合計	△25,438	54,568
四半期包括利益	141,949	160,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,656	146,396
非支配株主に係る四半期包括利益	12,292	14,258

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	255,452	156,948
減価償却費	80,747	84,021
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△624	453
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	307	5,562
受取利息及び受取配当金	△9,356	△9,112
支払利息	10,784	12,241
助成金収入	△16	△2,300
為替差損益 (△は益)	722	1,206
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△376
売上債権の増減額 (△は増加)	86,333	64,306
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△159,851	△304,190
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,288	69,340
その他の資産の増減額 (△は増加)	△31,846	△12,169
その他の負債の増減額 (△は減少)	△10,388	△11,662
小計	238,553	54,270
利息及び配当金の受取額	9,356	9,112
利息の支払額	△11,365	△11,982
助成金の受取額	662	2,900
法人税等の支払額	△123,196	△72,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,009	△18,686
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	276,600	276,600
有形固定資産の取得による支出	△18,304	△113,092
無形固定資産の取得による支出	△1,077	△3,844
投資有価証券の取得による支出	△4,582	△4,099
投資有価証券の売却による収入	—	2,078
その他	141	△16,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,823	△135,761
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	590,000	590,000
長期借入金の返済による支出	△352,016	△378,468
社債の償還による支出	△30,000	—
リース債務の返済による支出	△22,991	△22,278
自己株式の取得による支出	△119	—
配当金の支払額	△56,031	△56,022
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,842	119,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△722	△1,206
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	204,305	△36,423
現金及び現金同等物の期首残高	2,530,636	2,603,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,734,942	2,567,147

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,775,076	139,344	2,914,421	—	2,914,421	2,914,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,775,076	139,344	2,914,421	—	2,914,421	2,914,421
セグメント利益	175,160	72,270	247,430	—	247,430	247,430

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,692,199	129,773	2,821,972	—	2,821,972	2,821,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,692,199	129,773	2,821,972	—	2,821,972	2,821,972
セグメント利益	83,814	61,624	145,439	—	145,439	145,439

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。